

# 入りたいたいの会社は休める会社

A5015

東京都港区の慶応義塾大  
学三田キャンパスから徒歩  
1分の場所にあるカフェ。

東大や京大など、有名大  
学の近くに全国10店舗を展  
開する「知るカフェ」だ。

ドリンク代などの経費は現  
在約180社のスポンサー  
企業が負担する。企業はこ

こで説明会などを通じ、学  
生と交流する仕組みだ。

「自分は安定志向なの  
で、就職活動では福利厚生  
や職場環境を重視したい」  
友人とうち合わせしてい

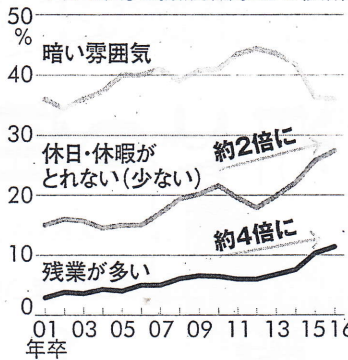
た慶大3年の男性(20)はこ  
う話した。長時間労働や過  
酷なノルマがないか企業の

評判に気を配っている。

知るカフェを経営する  
「エンリッシュン」の柿本  
優祐社長は「大半の学生が  
重視するのは福利厚生で、  
カフェでの説明会でもそう  
した質問が多い」と語る。

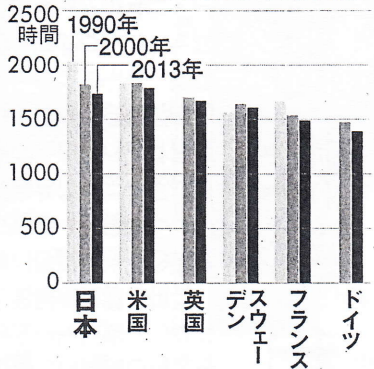
マイナビが今年6月に発  
表した2016年卒の大学

## 行きたくない会社は マイナビ大学生就職意識調査から(抜粋)



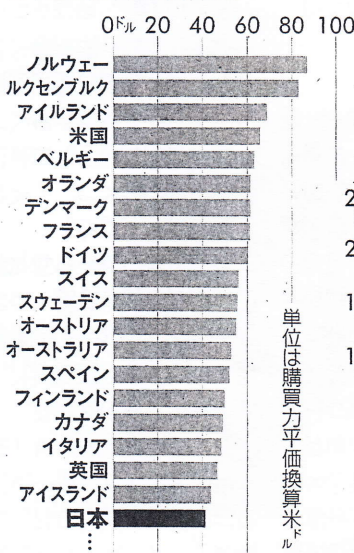
## 一人あたりの 平均年間総実労働時間

OECDの資料から。2015年2月現在



## OECD加盟国の時間あたり 労働生産性

2013年。上位20カ国  
日本生産性本部の資料から



単位は購買力平価換算米ドル

生就職意識調査では、「行  
きたくない会社」を聞く質  
問(二つ選択)で、01年卒

と比べ、「休日・休暇がと  
れない(少ない)会社」は  
倍近い27・4%に、「残業  
が多い会社」は4倍近い11  
・4%に上った。

世の中の変化を感じ取り  
動き出した企業がある。

長時間労働が当たり前だ  
ったシステムエンジニアの  
世界で、労働時間を大幅に  
減らしたのは、ITサービ  
ス大手のSSCKだ。

「我が社は『ブラック企  
業』の筆頭だった」  
2011年に合併して誕  
生したSSCK初代社長の

中井戸信英会長は、こう振  
り返る。住友商事の副社長  
からSSCKの前身の住商  
情報システム会長兼社長に  
転じた際、会社で寝泊まり  
する社員に衝撃を受けた。

個人的な経験が改革への  
決意をさらに固くさせた。  
出産した娘は、孫がまた  
生後8カ月のときに職場復

帰を決めた。「止めたが、  
娘の意思は強かった。女性  
の意識の変化を実感した」。  
残業時間を減らすことで女  
性が働き続けられ、共稼ぎ  
の夫婦が子育てをできる職  
場の実現が必要だと本気で  
考えるようになった。

12年度から、残業時間の  
削減を開始。残業時間が多  
い部署には、次の四半期に  
半減を求めた。会議時間を  
短くするための「立ち会  
議」などを導入。上司が定  
時に帰ることも徹底した。

08年度に月35時間を超え  
ていた平均残業時間は20時

間以下に。12年度から増収  
と経常増益が続いている。  
課長級以上の女性社員数は  
15年度には54人に増え、11  
年度の6倍に。18年度には  
100人を目指している。

下着メーカー大手の「ト  
リンプ・インターナショナル  
・ジャパン」元社長の吉  
越浩一郎さん(68)にとつて  
は、フランス人妻の存在が  
大きかった。

社員時代、残業で深夜に  
帰るたびに「家庭の作り方  
を知らない」と怒られ、離  
婚もほのめかされた。19  
87年、代表取締役就任

# 過労死防げぬ職場なお

だがこうした取り組みは  
全体から見ればまだ一部に  
とどまっている面もある。

連合によると近年、労働  
時間は高止まりし、働き過  
ぎによる精神障害や脳・心  
臓疾患の労災認定件数は依  
然として高水準にある。認  
定されているだけでも年間  
100人を超える人が過労  
死している。

それは日本を代表する大  
手電機メーカーでも起こっ

すると長時間労働の改革を  
次々と実行。92年に社長に  
就き、さらに加速させた。  
残業禁止日を増やしてい  
く一方、毎朝、担当社員を  
交えた会議を開き、それぞ  
れの仕事の締め切りを決め  
させた。

2003年、残業ゼロを  
実現。会社の意思決定が早  
まり、社員一人ひとりの生  
産性も高まった結果、19期  
連続で増収増益となった。  
「残業をなくせるかどうか  
はトップの覚悟次第だ」  
(風間直樹、鈴木友里子、津阪  
直樹)

ている。大学院の理工学研  
究科を首席で修了してから  
わずか4年、28歳だった男  
性は自ら命を絶った。

学生時代は趣味の自転車  
と学業を両立した。メーカ  
ーにはソフトウェア開発担  
当のエンジニアとして就職  
した。

異変が起こったのは3年  
目の夏。担当プロジェクト  
で不具合やクレーム対応が  
発生し、本来の開発業務が

遅れがちとなった。「一生  
懸命やってきた仕事から外  
されたくない」。働き詰  
め、秋口からは月の残業時